

「基本ルール」を守らない事による

労働災害が多発しています！！

大田原労働基準監督署管内の労働災害状況（裏面の災害統計も参考として下さい）

令和4年10月末現在：421名（新型コロナウイルス感染症含む） 対前年比：+84.6%
（新型コロナウイルス感染症を除く）：235名（前年同期：204名） 対前年比：+15.2%
死亡労働災害：3名（前年同期：2名）

大田原署管内の令和4年における労働災害の発生状況は、大幅な増加傾向にあります。また、これから迎える年末年始に向けて、懸念される「基本ルール」を守らない（作業手順や安全確認事項などの省略）ことによる災害が多発傾向にあります。

管内では次の様な死亡災害及び重篤労働災害（10月後半以降）が発生していますので、働く皆さん一人ひとりと事業主が協力して、「安全第一」を最優先に災害防止に努めて下さい。

業種・職種 性別・年齢	災害発生状況
製造業・作業員 男性・40歳代	成型加工の試運転作業中、成型機の上型に成型中の加工品が貼り付いた状態となり、取り除く作業を成型機前で行っていたところ、自動運転中のロボットアームに頭部が押され、アーム先端部と下型の間に頭部を挟まれた。その際に下型側より製品取出し用のピンが上昇し顔面に刺さった状態となった。 (死亡災害)(原因：非正常時における機械の運転停止の不徹底)
建設業・作業員 男性・60歳代	建設工事現場において小型運搬機(クローラ式)を使用して資材等の運搬作業を行っていた。運搬経路上には、山間部のため急傾斜や木の根などがあったため、当該木の根に乗り上げ、バランスを崩し約50mの斜面を小型運搬機と共に滑落した。 (休業災害)(原因：現場環境の確認不足、運搬機的能力を超えての取扱い)
小売業・運転手 男性・60歳代	倉庫内において商品積込作業中、4tトラックの荷台に乗り資材をロープで荷締め作業を行っていた際に、荷台アオリ部分(高さ：約1.5m)から足を滑らせ仰向け状態で転落し、コンクリートの地面に頭部を強打したものの。 (休業災害)(原因：不安全な作業方法、墜落防止措置の不備 など)
畜産業・作業員 男性・60歳代	被災者はフォークリフトの点検作業を行っていた際に、当該作業場所付近に積んであった牧草(約300kg)を他の労働者が運転するローダーで運搬しようとしたところ、牧草が荷崩れを起こし被災者の頭部に激突した。 (休業災害)(原因：重機作業を行う際の周囲の確認不足 など)

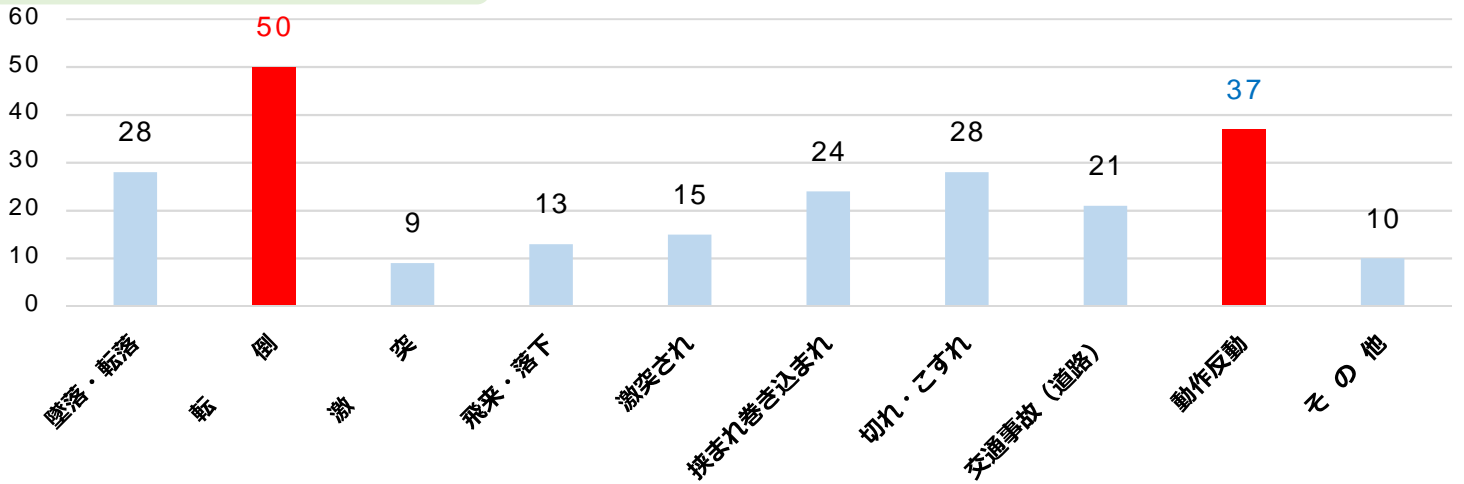
上記の事例のほかに、食品加工業における機械を止めずに作業したことによる巻き込まれ災害、荷役作業中における墜落災害(上記と同種災害)などの、様々な災害が発生しています。

これから迎える年末年始の時期は、例年、慣れない非正常作業や慌ただしさなどによる「基本ルール」の省略等による災害が多発傾向にありますので、労使が一丸となった労働災害防止の取組みお願い致します。

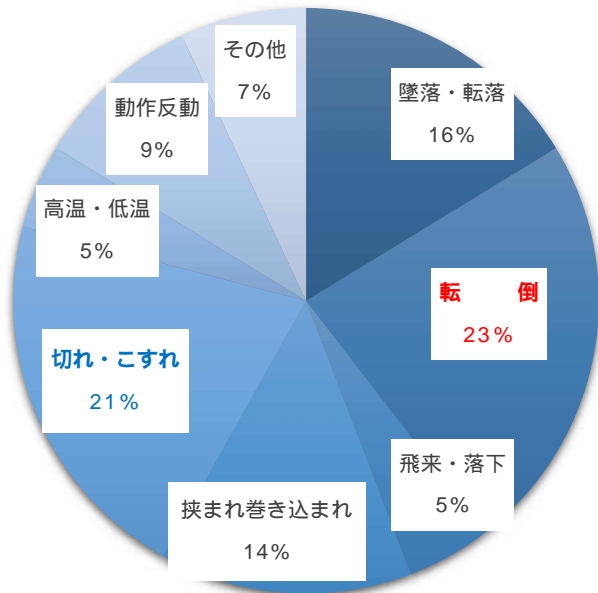


大田原労働基準監督署管内労働災害発生状況(令和4年10月末現在)

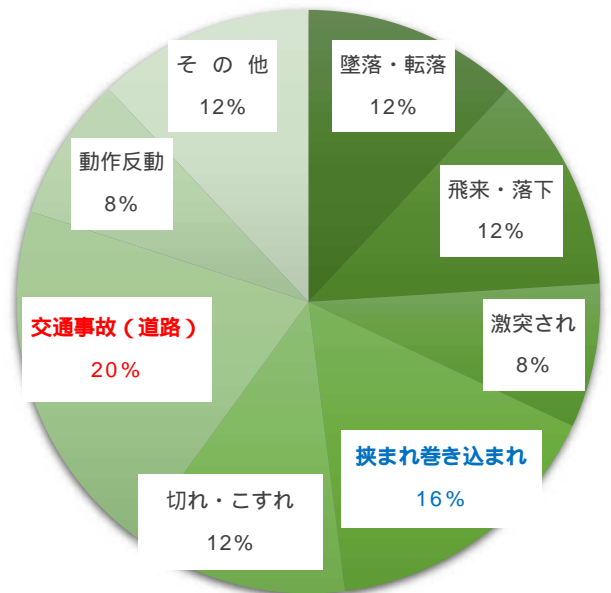
1 事故の型別発生状況(全業種)



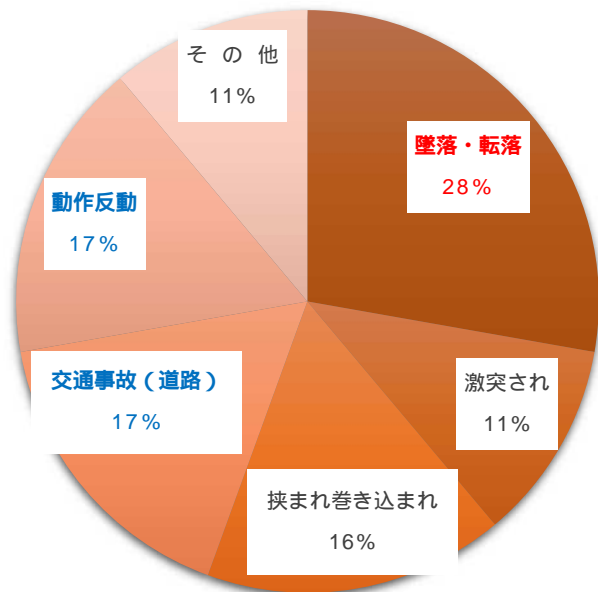
2 事故の型別発生状況(製造業)



3 事故の型別発生状況(建設業)



4 事故の型別発生状況(運送業)



5 事故の型別発生状況(第三次産業)

